

心配なのは、 ピュージェット・サウンド 海軍造船所等で行なわれている 艦船の修理時に、多くの 放射能事故が起きてくるはず。



横須賀市の原子力総合防災訓練に登場した防護服 (06.10.24)

赤字は造船所及び基地で発生した放射能事故

1971	米原潜ウッドロウ・ウィルソン、グアムで一次冷却水の圧力低下、メルトダウンの危険。
1971	米原潜スヌーク、故障で船体を傾けながら横須賀に入港、放射能汚染の疑い。
1975	米潜水艦母艦プロテウス、グアム湾内に、一次冷却水の移し替え作業中? (高放射能の一次冷却水を大量に放出、付近の海を汚染。
1976	米原潜から補給船に移していた冷却水500トンが川に漏出。
1977	米ピュージェット造船所で、2週間に4件の放射能汚染事故、大気中に漏れ出た放射能のために3人の労働者が被曝。
1978	米原潜ハフナー、高放射能の一次冷却水を大量にピュージェット造船所内に流出。
1979	米原子力空母ミッツ、原子炉部分で一次冷却水漏れ。
1980	米原子力巡洋艦ロングビーチ、沖縄で高放射能検出。
1980	米原潜ホークビル、ピュージェット造船所で冷却水漏れ、5人が汚染、2人が内部被曝。
1982	米原潜サム・ヒューストン、ピュージェット造船所で冷却水漏れ、1人が汚染。
82以前	米原潜フォーン・ステューベン、原子炉が緊急停止、数時間漂流。
1983	米原潜サーゴ、ハワイで冷却水排出時に、放射能漏れ。
1984	米原子力空母エンタープライズ座礁。
1985	米空母キティホーク、日本海でソ連原潜と衝突。
1986	米原子力空母カール・ビンソン等3隻の乗務員に原子炉の安全運転テストを行ったが不合格。
1986	米原潜ナサニエル・グリーン座礁、米原潜アトランタ座礁。
1988	英原潜レンリュウシオン、一次冷却水がとまり、あわやメルトダウンの事故。
1988	米原子力空母アイゼンハワー、商船と衝突事故。
1989	米原子力空母アラバマ・リンカーン330ガロンの低放射能冷却水を、川に放出。

原子力艦船の事故は日常的に起きている!

1989	米原潜フィンバック、資格のない水兵に訓練記録を改竄して原子炉操作権限を与え、乗組員が低レベルの放射性物質を含む機械を川に投棄。
1990	原子力空母ニミッツの4名の水兵、不適切な訓練によって、放射能安全を調べる定期点検に広くこまかしが行われていると内部告発。
1991	原子力巡洋艦ロングビーチ、バルブ弁故障のため、サンディエゴ湾内に一次冷却水が漏れる。他にも4つの港で放射能漏れ事故、乗組員の2名が脳腫瘍、2名が白血病。
1992	原子力空母エンタープライズ、造船所で放射能を帯びた冷却水が漏れて、作業員9名と4室が汚染され600万ドルの浄化作業を要した。
1994	原子力空母エンタープライズ、ドライドックで修理中に原子炉室で火災が発生し、放射能物質が漏れた。
1995	原子力巡洋艦カリフォルニア、放射能を帯びた水が漏れ、3名の水兵が汚染。1名の水兵が原子炉室の機器のテスト中の事故により火傷。
1995	原潜ソルトレイクシティー、酩酊した乗組員が原子炉を当直監視し、司令官解任。
1996	ピュージェット造船所で、原子力艦アーカンサスから放射性蒸気が漏れたが、米海軍は15時間事故を州政府と市民に通報せず。
1996	原潜サンファン、グロートン基地で、水兵1名が原子炉への破壊行為の疑いで免職。原子炉の制御棒へ電力を供給するワイヤーが切断されていた。
1997	原潜ホーツマス、基地での作業中に、2人の労働者が被曝。
1998	アイダホの海軍原子炉実験施設から高レベルの放射能が検知されたため、周辺の住民200名が避難。
1999	原子力空母ステニス、母港のサンディエゴ港内で座礁し、原子炉が2基とも緊急停止。
2000	原潜オリンピア、ハワイの造船所で修理中に放射性冷却水が漏れ、3名の労働者被曝。
2000	露原潜クルスク、爆発事故を起こして、原子炉ごとバレンツ海に沈む。
2001	英原潜タイアレス、地中海で、あわやメルトダウン寸前の事故。

この放射能事故の実態を見れば、
横須賀で放射性廃棄物を出すような
定期修理が行なわれること自体が
問題だと言わざるをえません。